

報 溝部学園

# 別府溝部学園短期大学

- 別府溝部学園短期大学
- 大分県歯科技術専門学校
- 別府溝部学園高等学校
- 認定こども園ひめやま幼稚園
- ひらた保育園
- 寒田ひめやま保育園

## 祝 卒業式典

令和6年度(第60回)

- 弓道部 第72回全日本学生弓道選手権大会出場
- 第68回西日本学生弓道選手権大会出場
- 第62回九州学生弓道選手権大会(女子個人優勝)
- 第60回九州学生弓道新人戦指宿大会出場

「だがわしは、天命だとは思わない。それは皆、やり方が悪かったからである。やり方さえよくすれば、負けるはずはなからう。」

我々は、思いがけない事態が起こると、運が悪かったと嘆くばかりだ。しかし、信玄は、これを否定する。運、不運で片付けてしまつては進歩がないからである。

どんな結果にも必ず原因がある。その時、その時、きちんと反省し、改める努力をしてこそ未来が開けてくる。と信玄は、語っていたと伝えられている。信玄が、何故、このような生き方をするようになった



### 武田信玄の 生き方に学ぶ

学校法人 溝部学園理事長  
別府溝部学園短期大学学長

溝部 仁

「だがわしは、天命だとは思わない。それは皆、やり方が悪かったからである。やり方さえよくすれば、負けるはずはなからう。」

我々は、思いがけない事態が起こると、運が悪かったと嘆くばかりだ。しかし、信玄は、これを否定する。運、不運で片付けてしまつては進歩がないからである。

どんな結果にも必ず原因がある。その時、その時、きちんと反省し、改める努力をしてこそ未来が開けてくる。と信玄は、語っていたと伝えられている。信玄が、何故、このような生き方をするようになった

「だがわしは、天命だとは思わない。それは皆、やり方が悪かったからである。やり方さえよくすれば、負けるはずはなからう。」

我々は、思いがけない事態が起こると、運が悪かったと嘆くばかりだ。しかし、信玄は、これを否定する。運、不運で片付けてしまつては進歩がないからである。

どんな結果にも必ず原因がある。その時、その時、きちんと反省し、改める努力をしてこそ未来が開けてくる。と信玄は、語っていたと伝えられている。信玄が、何故、このような生き方をするようになった

戦国時代最強の武将 武田信玄は何故、強かったのかその秘密を探ってみよう。

負けるはずのないと思つていた戦に負けたり、滅びるはずがない家が、滅びたりすると、人は皆、運だという。

「だがわしは、天命だとは思わない。それは皆、やり方が悪かったからである。やり方さえよくすれば、負けるはずはなからう。」

我々は、思いがけない事態が起こると、運が悪かったと嘆くばかりだ。しかし、信玄は、これを否定する。運、不運で片付けてしまつては進歩がないからである。

どんな結果にも必ず原因がある。その時、その時、きちんと反省し、改める努力をしてこそ未来が開けてくる。と信玄は、語っていたと伝えられている。信玄が、何故、このような生き方をするようになった

### 留学生数190名・9か国

2024年度秋、190名、9か国の外国人留学生が集う、国際色豊かなキャンパスとなった。留学生達の出身国は、ネパール、ミャンマー、スリランカ、中国、インドネシア、ベトナム、フィリピン、サモア、韓国の9か国である。介護福祉学科には、大分県内の介護施設で介護福祉士として活躍したいミャンマーからの留学生の入学が続いている。他の留学生は、食物栄養学科、ライフデザイン総合学科に所属し、それぞれの目標である日本での就職・進学など、それぞれの夢に向かって、日々勉強に励み、専門性を高めている。

今年も多くが日本語能力試験N1、N2に合格し、日本留学試験でも高得点を獲得した。日本語能力試験のほか、本学のモットーである「あなたはこの資格他に何ができますか」を胸に、日本での就職のため、「特定技能ビザ」「宿泊」「外食」分野に挑戦、合格した者もあった。昨年度の留学生の介護福祉士国家資格の合格率は100%であった。

日本の社会を理解するための「日本の文化」の学外授業は留学生達にとって人気の授業となっている。今後も、本学で勉強した成果を資格取得、点数できちんと出し、日本の社会を理解し、それぞれの夢に向かい一歩ずつ着実に近づいてもらいたい。

また、2024年国際交流課では、フランスの高等学校との高大連携協定、ネパール、スリランカの新しい学校との連携を深め、現地入試のほか日本語や日本文化の授業を開設している。

2025年は、更に多くの留学生の入学が決定している。今後も、日本人、留学生の垣根をこえて、共に国際化・多文化共生の道を歩んでいきたい。



### 一年を振り返って 「2024 ALL溝部・学園祭」へのチャレンジ Unity is strength.

短期大学部長 真部 健一

今年度も開学記念行事、頌徳式、各学科の学外研修等の学校行事が行われましたが、特筆すべきことは、「2024 ALL溝部・学園祭」の開催ではないでしょうか。これまで「SunSunフェスタひめやま」「文化祭」「姫山祭」などの呼称で行われていたものを、実施内容や運営方法等に工夫を加えることにより、亀川キャンパス内の別府溝部学園短期大学、大分県歯科技術専門学校、別府溝部学園高等学校、認定こども園ひめやま幼稚園が一体となり、2日間を渡る地域に開かれた学園祭を目指してチャレンジを行いました。突然の強風・豪雨により初日の行事は開祭式直後中止を余儀なくされましたが、2日目は好天に恵まれたので、保護者や地域の方々も多く参加の場、開祭式での大正琴の演奏、高大連携によるフュージョンショーやグラウンドでの園児によるマーチング、模擬店での食品販売、特設ステージでの日本人や留学生による歌や踊りなどの各種イベント、各学科の展示等盛りだくさんの催しに、多くの参加者が楽しく

充実した一日を過ごすことができましたと確信しています。初日の悪天候による中止は残念ではありましたが、テントの格納等強風に対する危険防止のため行動を、先生方の指示のもとずぶ濡れになりながらテキパキと行った学生のみならず、焼きついてしまっています。

この学園全体としての学園祭の開催は、溝部仁学長の強い思いが込められています。新型コロナウイルス感染症拡大によってもたらされた閉塞的な社会生活から立ち上がり、そして少子化、情報化、国際化等私たちが取り巻く様々な課題を抱え、大きな変革を余儀なくされているこれからの時代を生きていくためには、学園全体が一つになり、チャレンジ精神を持って活気あふれる学園生活の実現を目指すことが大切であります。溝部学園全体としての「unity(統一性、結束性)」の強化が求められています。これからは異なる新たな学園祭の創造に挑戦することはありません。学長、副学長の指導のもと、何度も会議を

重ねて案を練り、検討を加える過程を経ながら、学生・生徒・園児、教職員が溝部学園の一員として、保護者の協力を得ながら「2024 ALL溝部・学園祭」の成功を目指すという共通の目標のもと、ともに知恵を出し合い、協働の精神で準備を行い、学園祭を成功に導きました。姫山会の役員をはじめ学生のみならず、新たな挑戦を成し遂げた充実感も覚えたことでしょう。

終戦直後、昭和21年4月8日の別府高等技術学校の設立に始まる溝部学園は、来年度には創立80年の節目を迎えます。「2024 ALL溝部・学園祭」への挑戦は、学園全体としての結束力を強め、記念すべき創立80周年及び今後の本学園の発展に向けて、素晴らしい第一歩になったと確信しています。unity is strength. という英語のことわざがあります。一人ひとりの力を寄せ集め、情熱を抱いて一つの目標を目指し、ともに進んでいくとき、その力は想像できないほど強力なエネルギーになります。そして、そのエネルギーはこれからの人生を踏み出すとすると私たち一人ひとりとつながる大きな力を与えてくれます。卒業生のみならず、溝部学園で学んだことをエネルギーに、力強く羽ばたいていってください。ご卒業、おめでとうございました。

### 2024年度 介護福祉学科へミャンマーからの留学生来日

副理事長・副学長 教授 溝部 佳子  
国際交流課 課長 教授 松浦 倫子

令和6年度入学のミャンマーからの留学生28名が、4月20日(土) 8時00分福岡空港に到着した。その後、双葉バス(2台)にて本学に到着した。それぞれの寮に分散し、ミャンマーの先輩留学生の作った心のこもった温かいお弁当をいただいた。4月24日(水)、介護福祉学科1・2年次生による歓迎会があった。1年次生にはミャンマーからの留学生11名、2年次生には10名在学している。彼らの活躍ぶりを見て新留学生たちは安心感を



日本の素晴らしい伝統文化をも学び、高年齢者の気持ちに寄り添える介護福祉士に成長していくことを期待する。

得たようであった。今回の28名の内訳は直接1年次生になるのが7名、留学生コースの学生になるのが21名であった。本学の介護福祉学科で日本人の学生や他国の留学生と交流しながら、一番の来日目的である「世界一といわれる日本の「介護」を学んでいきたい。また、



### 2024年度 第32回 日本介護福祉学会大会 科学的介護を見据えた介護福祉学の到達点 全人的介護と科学的介護の調和に向けて

副理事長・副学長 教授 溝部 佳子

2023年に新型コロナウイルスは5類感染症へと移行したが、今も介護福祉や医療、保健の領域において大きな影響を与えている。さて、新型コロナウイルスに限らず、感染症との向き合い方は新たなフェーズへと移行した。そのような中、第32回大会は5年ぶりに集集・対面での現地開催とすることとした。

大会テーマは「科学的介護を見据えた介護福祉学の到達点、全人的介護と科学的介護の調和に向けて」である。本学会は1993年に設立して30年が経過する。これまで機関誌「介護福祉学」においても論壇で「介護福祉学の構築」の検討を

続けてきた。今後、我が国における介護はエビデンスに基づいた科学性がますます求められてくるであろう。他方で、この間介護福祉の現場で大切にされてきた「全人的介護」の重要性が否定されるわけはない。そこで本大会では「全人的介護」と「科学的介護」の調和について模索することを通じて「介護福祉学」の到達点を議論していきたいと考えている。非常に挑戦的なテーマとなるが、5年ぶりの現地開催の大会において、皆様の意見を聴きながら進んでいくことを期待している。学会員の皆様はもちろんのこと、介護現場で活躍される皆様、介護の未来を担う学生の皆様のご参加もお待ちしております。

いる。第32回大会が有意義な大会となるように、皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。科学的介護を見据えた介護福祉学の到達点、全人的介護と科学的介護の調和に向けて、

- 【日程】2024年8月25日(日)
- 【会場】北星学園大学 介護福祉学会大会実行委員会(大会プログラム)
- 【主催】日本介護福祉学会・第32回日本介護福祉学会大会実行委員会
- 【開会式】
- 【基調講演】「科学的介護の構築への挑戦、科学的介護の確立に向けて」畑 亮輔
- 【学会企画シンポジウム】日本介護福祉学会設立30周年記念企画「介護福祉学の到達点と将来像」
- 【学会総会】
- 【自由研究発表】
- 【学会企画シンポジウム】「科学的介護が照らす全人的介護への道、科学的介護の具体的な取り組みから」
- 【閉会式】

### 令和6年度(公社)日本介護福祉士養成施設協会 九州ブロック教員研修会 養成校の使命と挑戦

副理事長・副学長 教授 溝部 佳子

介護福祉士養成教育は、1988年の開始より35年余を経て、現在、さまざまな課題に直面している。また、ポストコロナに向けて、新たな歩みを始めようとしている時期である。

このような時期に、今一度今までの教育の歩みを振り返りながら、これから

の介護福祉2025年の介護人材の需要ギャップが37.7万人と予測されており、今後も毎年3.5万人の不足が続くとされている。介護人材の量と質の両面からの取り組みが求められる中、全国の養成校では学生の確保に苦慮し、閉校を余儀なくされる状況が多く見受けられている。この

ような状況のもと、九州ブロック教員研修会in佐賀では、人材確保の問題とともに、養成校の存在意義や使命、そして、養成校卒業生の質の高さを保つための議論を行いたいと考えており、量と質の両面での課題の解決に寄与するための研修会にしたと準備を進めてきた。今回の研修では、九州各県の先生方とコロナ禍前のように交流を深め、多くの意見を交わし、有意義な時間にしていきたいと考えている。

【日程】2024年9月7日(土)

【会場】西九州大学短期大学部(西九州大学 佐賀キャンパス)

【方法】対面

【主催】日本介護福祉士養成施設協会九州ブロック

### 令和6年度 九州地区私立短期大学協会教職員研修会 介護人材育成のための介護福祉教育 日本・中国の介護事情

副理事長・副学長 教授 溝部 佳子

介護福祉士養成教育は、1988年の開始より35年余を経て、現在、さまざまな課題に直面している。また、ポストコロナに向けて、新たな歩みを始めようとしている時期である。

このような時期に、今一度今までの教育の歩みを振り返りながら、これからの介護福祉

【日程】2024年9月10日(火)

【会場】福岡ガーデンパレス

### 令和6年度 全国教職員研修会 介護福祉士養成施設の未来像 介護福祉士の人間力の涵養と養成教育の価値

副理事長・副学長 教授 溝部 佳子

介護を取り巻く環境はここ数年で大きく変化している。介護サービス提供者は、エッセンシャルワーカーとしての存在価値が認知されつつある一方で、少子高齢化による慢性的な人材不足から脱却できないばかりか、社会的評価は依然として高まらない現状が続いている。介護人材不足に対する打開策として、介護ロボットやICT機器の導入、外国人介護福祉職の活用などがクローズアップされている。介護サービスの提供者は、単なる「お世話」に終始してはならない。

そのために介護福祉士養成施設では「支援」に対して多角的なカリキュラムをもとに教育活動を展開しているが、介護を取り巻く環境は目の前の利用者を支援していくための量的な支援に偏重していると言わざるを得ない。教育者として、実践者として、いかに利用者に対して適切な介護を提供していくか、その介護はどのようなものであるか、その意義や意味を再確認する必要があるのではないかと考えている。

【日程】2024年10月24日(木)

【会場】山形テルサ

【方法】ハイフレックス方式(対面+オンライン)

【主催】日本介護福祉士養成施設協会

【副主催】日本介護福祉士養成施設協会 東北ブロック会

【研修1日目】

【行政報告】オンライン



厚生労働省社会・援護局 福祉基盤課

【分科会】

【分科会報告】

【質疑応答】

【閉会挨拶】

### 第22回環黄海経済・技術交流会議 ビジネスフォーラムでの ライフデザイン総合学科2年生 郭馨竹さんの発表報告

2024年11月13日、九州経済産業局、九州経済国際化推進機構、(一社)九州経済連合会、立命館アジア太平洋大学、韓国産業通商資源部、中国商務部、(社)韓日経済協会主催「第22回環黄海経済・技術交流会議ビジネスフォーラム」が立命館アジア太平洋大学ミレニアムホームにて盛大に行われた。九州100名、韓国・中国150名の参加者で、主に外国人人材育成・定着に向けた取り組み、外国人材の活躍によって海外展開に取り組んでいる企業などの紹介が行われた。また各大学を代表した学生によるプレゼンの発表も行われ、郭馨竹(グオシンズウ)さんは「大分・別府から未来へ」というテーマで発表した。郭さんは大分県にしかないグローバルな学習環境の中で、異文化理解と受容を通して、国際的な発展における若者の役割を果たしたいと主張した。

郭さんは、「今回の発表を通して、自分が大分県で培った経験や学びを振り返ることができ、とても貴重な機会となりました。このようなグローバルな場で、自分の考えや意見を発信することは、自身の成長を感じさせてくれるものでした。当日までの準備は決して簡単ではありませんでしたが、特に、テーマの選定や内容の構成には大変力を入れました。大分県、別府市という地域の特性を、今の留学生寮での生活などで得たことを生かした未来への提案を通して、異文化間の橋渡し役として貢献したいという思いを伝えられたことに、達成感を感じています。今後もこうした機会を大切に、自分の夢である国際交流での活躍につなげたいです。」と語った。



「第21回外国人による日本語スピーチコンテスト」において、ライフデザイン総合学科ビジネス・観光コース1年生のスリランカ出身マルシ ロジャーリ フェルナンドさんが「国際交流の中で感じた日本の文化や時間と信頼の価値」というテーマで最優秀賞、介護福祉学科留学生コースのミヤンマー出身カウチンさんが「国際交流を通して感じたこと」というテーマでJ・C・O・M大分ケーブルテレビ賞を受賞しました。

### 留学生による日本語 スピーチコンテスト 結果報告

第21回  
外国人による日本語スピーチコンテスト 優勝!



令和6年9月2日、J・R新潟駅前ガレットホールにおいて、「食の倉庫・新潟 伝統と創造」と題した日本伝統食品研究会主催の講演会が開催され、これに参加する機会を得た。伝統食品に関する以下の4つの講演があった。

- 1. 新潟郷土料理「日本酒とのフードペアリングのすすめ」(新潟大学自然科 学系 山口智子氏)
- 2. 西洋なし「ル レクチェ」(新潟の土地と人が育んできた逸品) (新潟食料農業大学食料産業学部 松本 辰也氏)
- 3. 新潟新種酵母で醸す日本酒の香味とその特徴(新潟県醸造試験場 栗林 喬氏)
- 4. かまぼこの歴史と新潟かまぼこの特徴について(株式会社堀川 堀川政良氏)

が、今回の講演会に参加することによって他県の伝統食品について具体的な情報を詳細に知ることができた。また、現地で実際に郷土料理を試食することもでき、これらの経験を今後の講演や授業の充実に大いに役立てることができた。令和6年10月16日(水)に本学で開催した公開講座「郷土料理」調理実習指導、令和6年11月16日(土)開催の「豊の国学」リレー講座「次の世代に伝える豊の食生活を考える」(ホルトホール)での講演、令和6年11月20日(水)本学食物栄養学科学生対象の出張講座「食のストーリー」継承事業「鮎」のマネージメントならびに食のストーリー継承事業(大分県主催 OBS企画)のパネルレートの監修を行い、大分県の郷土料理の紹介や、大分県の食文化の継承に関する啓発活動を積極的に実施した。

### 開学記念行事2024 新入生歓迎バス遠足 in 城島高原パーク

令和6年4月26日(金)、開学記念行事として「開学記念 in 城島」と称し、城島高原パークへ大分県歯科技術専門学校と合同でバス遠足を実施しました。当日は別府競輪場からバスに乗り込み現地へ向かいました。現地では学生にフリーパスチケットと1000円分のミールクーポンを配布し、10時の開門から15時まで各々の時間を過ごしていました。当日は朝からあいにくの曇天。午後から雨が降り出すかも?の様な天気でしたが、それにも負けぬ学生の姿が多くみられました。

今年度は留学生の人数も大幅に増え、さらに多くの国籍が集う学校になりました。日本人学生にとっても沢山の異文化を学ぶ機会となるでしょうし、留学生にとっても日本人の友達とは異なる文化や生活の面白さを学ぶ機会も増え、交流の場でも交友を深めて頂きたいと思っています。入学したての1年生と2年生の交流や、教員との関わりの中で良い思い出になったのではないのでしょうか。この開学記念行事のよう



### 第六十二回 九州学生弓道選手権大会 女子個人優勝

令和6年10月23日~25日アクション福岡(福岡県)で開催された第62回九州学生弓道選手権大会に本学弓道部員3名が出場をした。団体戦では予選通過のボーダーを超えられなかったが、女子個人戦ではライフデザイン総合学科2年生の本山愛菜さんが個人優勝を果たした。女子個人戦の決勝に進み、会場が静まる中、最後まで集中して弓を引く姿はとてもしっかりと決まっていた。決勝戦では8本中1本しか外さず、いかに1本1本集中して引いていたかが分かる。他大学の選手が脱落していく中、5本目を引き終わるころには選手が2人になっていた。また、的の大きさが8寸的(約24cm)のものに変わり、より集中力が試される試合となった。本山さんと他大学の選手の一騎打ちになり、相手選手が的中し緊張が走る中、本山さんも的中した時は、見ているだけなのに心臓がバクバクした。7本目両者とも外し、会場内の注目がさらに2人に集まった。8本目相手選手が外し、本山さんが的中した時の会場のどよめきはすごかった。Youtubeに大会のアーカイブが残っているので、気になる人はぜひ見てほしい。

私はライフデザイン総合学科日本語コースのバクリン・タマン・スニタです。ネパールから参りました。別府溝部学園短期大学での留学生生活は、私にとって貴重な経験となり、数多くの素晴らしい思い出を作ることができました。最初は言葉の壁や文化の違いに戸惑うこともありましたが、学校のサポートと友達との交流を通じて、次第に自分を成長させることができました。来日当初、日本語がほとんどできなかった私は、コミュニケーションに対する不安が大きかったです。しかし、別府溝部学園短期大学という環境で、お互いの文化の違いを尊重しながら、自分らしく学べる機会を提供していただきました。このおかげで、日本語を学ぶ楽しさを実感し、積極的に他国の留学生と交流するようになりました。また、日本の文化や伝統を学ぶと同時に、自国の文化を紹介する機会もあり、これらの経験が私にとって日本社会を理解する大切なステップとなりました。



### 別府溝部学園短期大学での思い出

将来は、ビジネス観光を学び、観光業における知識を深め、仕事に活かしていきたいと考えています。さらに日本語を学び続け、将来的には観光業の分野で活躍できるように努力していきます。

URL : <https://www.youtube.com/watch?v=3wjNx-Fyx9w>



### 第77回伝統食品に関する講演会参加と 大分県郷土料理の普及活動

会期: 令和6年9月2日(月) J・R新潟駅前ガレットホール  
食物栄養学科 教授 望 月 美左子

# 別府溝部学園短期大学 公開講座 オープンレッジ2024実施

別府溝部学園短期大学ホームページから申し込みます [ページをみる](#)

別府溝部学園短期大学では、本学がもっている専門的、総合的な教育・研究機能を地域社会に開放することにより、地域住民の多様化、専門化する生涯学習ニーズに応え、地域文化の向上に資することを目的として、公開講座を実施しました。本学会場とJ:COMホルトホール大分会場で開設・実施された講座は以下の通りです。参加者は、幼児から高齢者まで、延べ約350名に達し、和気あいあいとした雰囲気と有意義な時間を共有していました。

## 別府溝部学園短期大学会場

- ①「魔法のパン屋さん」アンパンマンとカレーパンマンそして温泉プールで遊ぶうね!
- ②イングリッシュハンドベル講座-入門編-
- ③温泉学~別府温泉の魅力、温泉活用法を学ぶ~
- ④大分学~おんせん県おおいたをまるごと学ぼう~
- ⑤歴史と和菓子~かるかんと椿餅をつくろう~
- ⑥伝えようあなたの気持ち-楽しく話そう 90分-
- ⑦菓草料理マイスター養成講座
- ⑧朝の目覚めは朝ごはんから
- ⑨郷土料理を探ろう
- ⑩おせち
- ⑪お魚さばき講座

## J:COMホルトホール大分会場

- ①フラワーアレンジ
- ②アンガーマネジメント講座
- ③スタイルアップ理論を学ぶ骨格診断講座



## 第19回 読書感想文コンクール

19回目を迎えたこの読書感想文コンクールは、教育目標「Mizobe Spirit」の理念である「三活動・五心」のひとつ「心を耕す読書」を具現化する活動として継続されてきました。これは、読書感想文の執筆をとおして学生たちに自己表現の機会を与え、感受性や創造力を育むことを目的としています。

### 【読書感想文の部】

#### 最優秀賞

吉田 悠花 (幼教1年)

「サマーゴースト」を読んで

#### 優秀賞

川野 有理 (幼教2年)

「満月珈琲店の星詠み」を読んで

伊藤 夏 (介護1年)

「話す力」を読んで

後藤 夢叶 (ライフ1年)

「自己」を読んで

#### 佳作

徳丸 亜美 (食物1年)

「火垂るの墓」を読んで

田中 舞 (食物2年)

「嫌われる勇気」を読んで

豊田 弥月 (ライフ1年)

「アイネクレライネハトムジーク」を読んで

甲斐のすみ (食物2年)

「銀河鉄道之夜」を読んで

安東 永遠 (介護2年)

「5分後に意外な結末」を読んで

【ボスターデザイン】

天沼ヒカル (ライフ2年)

充実した人生を築くための基盤を作ることができず、その意図を踏まえて、今後本コンクールを継続・発展させることで、別府溝部学園短期大学の学生皆さんに確かな読書習慣が根付くことを願っています。

「サマーゴースト」は、本書の主題である「死」と「生きる意味」について深く考えた感想文でした。登場人物の「死」を求めた気持ちに触れつつも、最後には「生きること」の価値を問いつけてくる点に強く共感しており、今を生きている瞬間を大切にすることの重要性を感じさせてくれた優れた作品です。さて、感想文を書く際の基本としては、登場人物の行動・心情、また、著者が伝えているテーマ等の作品内容をしっかりと理解していることが条件となります。さらには、読書が自分と与えた影響や、将来に向けて変化した意識などを言葉にすることが求められます。読書体験がどのように自分を成長させたかを記すことで、その意義を示すことも出来ます。読書の内容を自分の言葉で整理することや、作品から得た感動や学びを自分の体験や価値観と結びつけることは、他者に新たな視点や考え方を提供できるコンテンツにもなるはず。結局のところ、読書感想文は読者自身の個性や感受性が表れる場です。型にはまった内容ではなく、独自の考えや経験を反映させた文章が、最も魅力的で意味深い作品と言えるでしょう。読書に親しむことの意義は楽しむことにより、読書を日常生活に取り入れることで、より

注(ラフデザイン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科、介護福祉学科)

## ライフデザイン総合学科・食物栄養学科 幼児教育学科・介護福祉学科 4学科合同就職ガイダンス

令和6年度就職支援年間計画

### 【就職ガイダンス】

#### 第一回 就職ガイダンス

「就活に必要な書類の説明・履歴書の書き方等」

ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科、介護福祉学科2年次生対象

講師/各学科ごと

日時/令和6年4月4日(木)

#### 第二回 就職ガイダンス

「論作文」

ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科、介護福祉学科2年次生対象

講師/各学科ごと

日時/令和6年4月4日(木)

#### 第三回 就職ガイダンス

「就活に必要なマナー講座」

ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科、介護福祉学科2年次生対象

講師/各学科ごと

日時/令和6年6月1日(土)

#### 第四回 就職ガイダンス

「就活のための論作文の書き方(自己PR・志望動機等)」

ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、介護福祉学科の各2年次生対象

講師/IOIキャリアガイダンスセンター

日時/令和6年6月1日(土)

#### 第五回 就職ガイダンス

「就活のための正しい着こなし・身だしなみ」

ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、介護福祉学科の各1年次生対象

講師/紳士服の青山

日時/令和6年10月5日(土)

#### 第六回 就職ガイダンス

「就職活動のノウハウを学びましょう」

ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、介護福祉学科の各1年次生対象

講師/ジョブカフェおおいた

日時/令和6年10月5日(土)

#### 第七回 就職ガイダンス

「性格検査・一般常識テスト」

ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科、介護福祉学科の各1年次生対象

講師/各学科ごと

日時/令和7年2月

## キャリア教育講座

学生のための教養講座

### 【ライフデザイン総合学科】

#### 「ライフデザイン総合学科」

##### 第一回 キャリア教育講座

「ライフデザイン総合学科 インターンシップ報告会」

日時/令和6年10月23日(水) 9時00分~10時30分

会場/記念館3階 マルチメディア教室

##### 第二回 キャリア教育講座

「医療事務コース」

日時/令和6年10月27日(木) 14時30分~16時

会場/別府溝部学園短期大学 本館125教室

##### 第三回 キャリア教育講座

「医療事務の仕事について」

講師/ハードアカリニック 医療事務 佐藤 里穂子様(卒業生) 医療事務 新野 佐代子様(卒業生)

日時/令和6年7月29日(月) 10時40分~12時10分

会場/別府溝部学園短期大学 本館124教室



### 【食物栄養学科】

#### 第一回 キャリア教育講座

「給食管理実習 学外実習報告会」

日時/令和6年9月30日(月) 9時00分~12時00分

会場/別府溝部学園短期大学 本館階段教室

#### 第二回 キャリア教育講座

「株式会社メフオス 会社説明会」

参加企業/株式会社メフオス 西日本エリア担当 岩永 友子様 村上 明穂様

日時/令和6年7月19日(金) 14時30分~15時30分

会場/別府溝部学園短期大学 2号館栄養指導実習室

#### 第三回 キャリア教育講座

「日清医療食品(株) 株式会社メフオス 会社説明会」

参加企業/日清医療食品株式会社 南九州支店 横山 真純様 株式会社メフオス 西日本エリア担当 村上 明穂様

日時/令和7年2月12日(水) 10時00分~12時30分

会場/別府溝部学園短期大学 87年館 872教室



### 【幼児教育学科】

#### 第一回 キャリア教育講座

「保育所での保育の実践と保育者の役割Ⅰ」

講師/学校法人溝部学園 ひらた保育園 主任保育士 松尾 慎也先生

日時/令和6年6月13日(木) 14時30分~16時

会場/別府溝部学園短期大学 本館125教室

#### 第二回 キャリア教育講座

「保育所での保育の実践と保育者の役割Ⅱ」

講師/学校法人溝部学園 ひらた保育園 主任保育士 松尾 慎也先生

日時/令和6年6月20日(木) 14時30分~16時

会場/別府溝部学園短期大学 本館125教室

#### 第三回 キャリア教育講座

「幼稚園での教育の実践と保育者の役割Ⅰ」

講師/幼保連携型認定こども園 ひめやま幼稚園 園長 伊藤 由美子先生

日時/令和6年6月27日(木) 14時30分~16時

会場/別府溝部学園短期大学 本館125教室

#### 第四回 キャリア教育講座

「幼稚園での教育の実践と保育者の役割Ⅱ」

講師/幼保連携型認定こども園 ひめやま幼稚園 主幹教諭 原田 美穂先生

日時/令和6年7月4日(木) 14時30分~16時

会場/別府溝部学園短期大学 本館125教室

#### 第五回 キャリア教育講座

「保育所での保育の実践と保育者の役割Ⅲ」

講師/社会福祉法人姫山会 寒田ひめやま保育園 主任保育士 森山 寿見子先生

日時/令和6年7月11日(木) 14時30分~16時

会場/別府溝部学園短期大学 本館125教室

#### 第六回 キャリア教育講座

「保育所での保育の実践と保育者の役割Ⅳ」

講師/社会福祉法人姫山会 寒田ひめやま保育園 主任保育士 森山 寿見子先生

日時/令和6年7月18日(木) 14時30分~16時

会場/別府溝部学園短期大学 本館125教室

#### 第七回 キャリア教育講座

「卒業生講話 4年目の保育者を迎えて」

講師/江藤 未来先生 (幼保連携型認定こども園 ひめやま幼稚園) 今村 花永先生 (社会福祉法人姫山会 寒田ひめやま保育園) 中澤 しおり先生 (学校法人溝部学園 ひらた保育園)

日時/令和6年10月17日(木) 10時40分~12時10分

会場/別府溝部学園短期大学 本館125教室

#### 第八回 キャリア教育講座

「幼稚園教諭の役割と指導実践」

講師/大分県私立幼稚園連合会 理事 広報・PTA委員長 藤垣 勝志先生 理事 広報・PTA委員 奥村 みはる先生 認定こども園めぐみ幼稚園 保育教諭 岩久 葵先生

日時/令和7年1月17日(金) 13時~14時

会場/別府溝部学園短期大学 本館階段教室



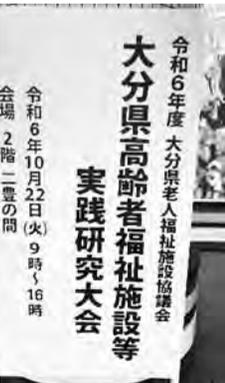
### 【介護福祉学科】

#### 第一回 キャリア教育講座

「令和6年度大分県高齢者福祉施設等実践研究大会」

日時/令和6年10月22日(火) 13時00分~16時00分

会場/レインプラントホテル大分 2階二豊の間



# 弓道部



## 2年間の学び

主将 山本 愛菜

私は中学から弓道を始め、中学・高校では納得のいく結果を出せず悔しい思いをしてきました。大学に入ってからも何度も壁に当たり諦めかけていましたが、そんな時に支えてくれたのは一緒に練習を頑張ってきた先輩や仲間存在でした。

先輩は高校が同じこともあり、教え合いをしたり励ましてもらったり、互いに切磋琢磨しながら練習を積み重ねてきました。同期には団体戦に出るための人数が足りないということで何度も勧誘し続け入部してもらったことが出来ました。練習では、的中するためのポイントや試合でも同じパフォーマンスができるように意識し、同期には初心者ということもあり弓道の基本や中てるためのコツを教えました。ポイントを押さえた練習をしてきたことで、最後の九州大会では個人優勝することが出来ました。

そして、試合がある度に引率をし、選手がリラックスして全力で試合に挑めるようにしてくださった顧問・副顧問の先生、また側で支えてくださった方々に厚く感謝申し上げます。2年間本当にありがとうございました。

話は変わりますが、私は4月から医療事務員として働きます。この2年間医療事務の勉強や実習などしてきましたが、システムややり方など病院によって違います。しっかりポイントを押さえて働いていきたいと思います。



# 栄養士になるための給食管理学外実習 報告会+座談会

実施日：令和6年9月30日（月）9：00～16：00  
 会場：別府溝部学園短期大学  
 参加者：食物栄養学科1・2年生、教職員

栄養士資格取得必須科目である給食管理学外実習は、栄養士になる学生にとって重要であり集大成でもある。この日の午前に報告会を午後に座談会を行った。今年度の給食学外実習は実習期間中に台風10号に見舞われ、日程の調整を行うなど不安のなか実施されたが、無事に実習を満了することができ、その実習での成果報告である。報告者は、食物栄養学科2年生で給食学外実習を8～9月に実施した者15名であり、大分県の病院5か所・宮崎県の病院2か所・高齢者施設7か所・こども園1か所の計15か所について、本館3階の階段教室を会場として1人10分程度の発表（スライド使用）を行った。発表内容は、施設概要・実習内容・研究テーマ内容・課題の取組み・考察等である。発表する学生の満足した表情をみると、栄養士になるんだという決意と実習を行った達成感が発表で伝わってきた。

昼食の時間では、会場を125教室に移動し、お弁当を全員で食べてから、教員が準備したお楽しみ会（ジェスチャーゲーム等）を行った。1年生と2年生のコミュニケーションが取れたところで、座談会が行われた。大分市・中津市・宮崎県ごとや3つのコースごとに6つの班に分かれ、2年生からより具体的なアドバイスや学びについて、意見交換が行われ異学年の親睦を深めることができた。会終了後のレポートでは、1・2年生ともに大きな学びができたとの感想があった。



# ハンドベル部年間活動報告

顧問 山香 陽子

今年度は、別府以外の地域の方々に演奏を聴いていただく機会に恵まれました。11月の太陽の家ゆうわ「オータムフェス」では、入所されている方々へ向けて演奏を披露しました。ハンドベルの音色に合わせて歌声が聴こえたり、手拍子が生まれたり。会場が一体となり、温かい雰囲気の中で演奏させていただきました。12月末の神崎校区児童育成クラブ「お楽しみ会」では、ベルの持つ魅力や演奏の楽しさがこどもたちへ伝わるよう、笑顔で楽しく演奏し、こどもたちからは合唱のプレゼントをいただきました。

OG活動では、大塚先生が1993年創部し、学生27年間OGOB22年間ご指導したハンドベルリンガーズ。11/24、18名のOGが集結し約550回目のラストコンサート『ファイナル』を開催。クロージングベルの響きと共に、31年半の活動に幕を閉じました。

学園のハンドベル活動は、引き続き地域の皆様にお届けできるよう、精進してまいります。



# 第2回 Mizobe食のフェスタ

第2回Mizobe食のフェスタは、令和6年11月2日（土）3日（日）ALL溝部・学園祭と同日開催で実施した。今回のテーマは、『野菜を食べてキラキラな毎日を!!』とし、「フードブース」「栄養・健康ブース」「ステージ企画」の3コーナーを用意した。

「フードブース」は、食物栄養学科の学生が考案、調理した大分県産品を使った、からあげドッグ・チキン南蛮ドッグ・カフェラテ・ミルクもちを販売し、地産地消の普及啓発を行った。

「栄養・健康ブース」は、大分県東部保健所様ご協力のもと、ベジチェック・食育SATシステム、大分県食品衛生協会様ご協力のもと、手洗いチェックを行った。また、豆つまみゲームや旬の野菜輪投げ、食品ロス削減推進に向けた掲示、スタンプラリーなど大人も子どもも楽しんで学べるようにした。

「ステージ企画」は、大分県応援団「鳥」である「めじろん」も登場して、めじろんダンス・豪華景品がもらえる〇×クイズ&食育クイズを行った。

2日間で、延べ200名を越える方に参加していただいた。参加者アンケートでは、Mizobe食のフェスタの内容について96.5%の方が満足と回答し、自らの食生活や健康について考えるきっかけとなったと回答した方は、94.9%であった。参加者の満足度は高く、「日頃の食生活が見直せた」「楽しく学べた」「理想の食事を知ることができた」「子どもも楽しめた」など、多くのうれしい声をいただいた。

今回の第2回Mizobe食のフェスタでは、実体験を通して楽しみながら自らの食事や地産地消について考えるきっかけになったと思われる。今後も引き続き開催し、地域住民や学生、子どもたちなど、多くのみなさまの健康増進につながる一助となれるよう発展させていきたい。関係いただいた皆様へ厚く御礼申し上げます。



# 60th FASHION SHOW



令和7年2月21日(金) (18:00~19:30) ライフデザイン総合学科ファッションブランドコースの学生達によるファッションショーが、大分市のJ・COMホール大分・小ホールで開催され、約200名の方々にご来場いただきました。

学生個人のアイデアから生まれたリメイクファッションや、デザイン・パターンを一から作成したドレス等の作品を披露しました。授業の中で、思うように縫えなかったり等試行錯誤した分、学生個人のこだわりが詰まった作品が出来上がったと思います。

作品の製作のみならず、ファッションショーに向けてウォーキングレッスンやメイク、ヘアスタイル、BGM、照明・演出までトータルコーディネートされたファッションショーでした。会場は県内の高校生や保護者の方々、卒業生等の観客で埋め尽くされ、大盛況でした。不安と緊張で一杯だった学生達でしたが、本番を迎えると斬新なファッションで堂々とランウェイを歩き、ポーズを決めていく姿に胸が熱くなりました。

本学で学んだことを糧に、それぞれの新たな道で飛躍することを願います。



## 第43回 学生発表会



第43回となる公演を12月4日(水) J・COMホール大分、6日(金) 別府ビーコンプラザにて開催し、63団体、2181名の皆さんにご来場いただくことができました。

幕が上がる前に指遊び動画を取り入れ、副理事長のご挨拶後のオープニングでは、1、2年次生によるソーラン節に新たに鳴子を取り入れ、迫力ある演舞を披露しました。制作過程の短編動画放映後の幕間でオリジナルダンスやキャラクターのミゾバアー、ミオンちゃん、レオくんが登場すると、こども達は歓声をあげて魅入っていました。1年次生演目「見習いサントラのプレゼント大作戦」では、見習いサントラ達がどうやってプレゼントを届けるのか学校で実践していくという、クリスマスを楽しみに待てるような内容や観客参加型を取り入れました。休憩時間には、有志によるハンドベル演奏や授業風景を放映しました。2年次生演目のミュージカル「ラプンツェル」(時間を超える愛)では、背景幕、大道具、小道具、衣装など舞台のすべてを学生がハンドメイドし、愛の源となる親子愛をテーマに、こどもを想う親の気持ち、時間を超えて循環していく愛の力を表現し、観に来てくれた子どもたちが、傍にいる人や物、自然を大切にできる愛をもった大人になれるよう願いを込めて創作しました。実行委員長からの挨拶の後、「スマイルキラキラ輝く明日へ」を合唱し、客席の子どもたちが一緒に振付を踊る姿も見られました。

3公演を通し、こどもたちに一足早いクリスマスプレゼントを届けることができました。



## 令和6年度 介護福祉学科 ふくし・ふれ愛ひろば 地域・ふれ愛ひろば

介護人材育成と地域貢献を目的として、介護福祉学科発足当初より取り組んでいる「ふくし・ふれ愛ひろば」が、今年も開催されました。別府溝部学園高等学校2・3年生を対象とした「溝部学園 ふくし・ふれ愛ひろば」と地域の高齢者と県内の高校生を対象とした「溝部学園 地域・ふれ愛ひろば」を開催しました。参加した高校生や地域の方に、介護の素晴らしさや食生活の重要性について披露しました。

1回目 「溝部学園 ふくし・ふれ愛ひろば」  
 (日時) 令和6年6月14日(金) 午前8時40分~12時30分  
 (場所) 福祉介護棟 1階実習室  
 (対象者) 別府溝部学園高等学校3年生 51名 学内関係者 8名

2回目 「溝部学園 ふくし・ふれ愛ひろば」  
 (日時) 令和6年11月8日(金) 午前8時40分~12時30分  
 (場所) 福祉介護棟 1階実習室  
 (対象者) 別府溝部学園高等学校2年生 13名  
 別府溝部学園短期大学留学生 55名 学内関係者 9名

3回目 「溝部学園 地域・ふれ愛ひろば」  
 (日時) 令和6年11月16日(土) 午前9時~13時  
 (場所) 福祉介護棟 1階実習室  
 (対象者) 平田地区 33名 内籠卓球クラブ10名 高校生 6名  
 卒業生・保護者 4名 学内関係者 9名

(内容)  
 テーマを「ほんわか介護くん」と決め、「ほんとうにわかって介護」の必要性を視覚・聴覚に訴えた。  
 オープニングは学生と教員による大正琴演奏から始まり、統括・劇・レクリエーション・食事班に学生が分かれ、各班ともに福祉・介護の魅力を伝えた。また、興味・関心が湧くよう、参加者自ら体験できる企画を盛り込んだ。そして、対象者の特性に合わせた内容とするために、学生が自主的・主体的に取り組んだ。

参加した高校生からは「楽しかった」「良い思い出になった」等の声が聞かれ、地域の方からは「楽しかった」「ありがとう」等の声があった。1・2年次生協働で一つの大きな行事を成し遂げることができた。このことは学生たちにとって貴重な経験となり、今後の学生自身の成長や自信へと繋がるのではないかと考える。

祝 各種技能検定試験合格者一覽

第139回日本語ワープロ検定試験合格者 (令和6年7月実施)

- 【1級】(食物栄養学科保育健康コース1年) 長野 真信 (幼児教育学科1年) 仲村 璃南

- 【2級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース1年) 佐々木翔太 (食物栄養学科医事健康コース1年) 佐藤 詩唯

- 【準2級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース1年) 後藤 夢叶 (幼児教育学科1年) 橘 彩織

- 【2級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース2年) 笠置 結蘭 (食物栄養学科保育健康コース1年) 徳丸 亜美

- 【準1級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース2年) 麻生 優佳 (第140回情報処理技能検定試験(表計算)合格者) (令和7年2月実施)

- 【1級】(食物栄養学科医事健康コース1年) 嬉野 遥香 (【準1級】) (ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース1年) 都 ほか

- 【2級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース2年) 豊田 弥月

第141回日本語ワープロ検定試験合格者 (令和6年12月実施)

- 【2級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース2年) 笠置 結蘭 (食物栄養学科保育健康コース1年) 徳丸 亜美

- 【準2級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース2年) 麻生 優佳 (第137回情報処理技能検定試験(表計算)合格者) (令和6年7月実施)

- 【2級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース2年) 笠置 結蘭 (食物栄養学科保育健康コース1年) 徳丸 亜美

- 【準1級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース2年) 麻生 優佳 (第70回プレゼンテーション作成検定試験合格者) (令和7年2月実施)

- 【2級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース2年) 佐藤 優菜 (第77回文章入力スピード認定試験日本語合格者) (令和6年7月実施)

- 【準1級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース1年) 都 ほか

- 【2級】(介護福祉学科2年) 能丸 桂輔

第89回文書デザイン検定試験合格者 (令和6年7月実施)

- 【1級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース1年) 西崎 莉央 (食物栄養学科医事健康コース1年) 嬉野 遥香

- 【2級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース1年) 伊東 翠月 (食物栄養学科医事健康コース1年) 西崎 莉央

- 【3級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース1年) 後藤 暖乃 (ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース1年) 真旺

- 【2級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース2年) 笠置 結蘭 (第89回ホームページ作成検定試験合格者) (令和6年7月実施)

- 【1級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース2年) 麻生 優佳 (第69回プレゼンテーション作成検定試験合格者) (令和6年12月実施)

- 【2級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース2年) 佐藤 優菜 (第70回プレゼンテーション作成検定試験合格者) (令和7年2月実施)

- 【準1級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース1年) 都 ほか

赤十字救急法救急員 (令和7年1月実施)

- 【認定】(食物栄養学科保育健康コース2年) 清原 亜弓 (食物栄養学科保育健康コース1年) 清原 亜弓

- 【認定】(幼児教育学科2年) 阿部 瑞生 (幼児教育学科2年) 阿部 瑞生

- 【認定】(介護福祉学科2年) 須藤 舞乃 (介護福祉学科2年) 須藤 舞乃

- 【認定】(食物栄養学科温泉コンシェルジュコース2年) 草池 佳穂 (食物栄養学科温泉コンシェルジュコース2年) 草池 佳穂

日本レクリエーション協会 (令和7年3月取得)

- 【認定】(食物栄養学科温泉コンシェルジュコース2年) 草池 佳穂 (食物栄養学科温泉コンシェルジュコース2年) 草池 佳穂

学園祭報告

来年度の溝部学園創設80周年記念を目前に、今年度は「ALL 溝部学園・学園祭 2024」と銘打ち、令和6年11月2日(土)・3日(日)に別府溝部学園短期・別府溝部学園高等学校・大分県歯科技術専門学校・幼保連携型認定こども園ひめやま幼稚園の4部門合同での学園祭を実施しました。

短期大学学園祭のテーマは、「学園祭が学生それぞれの思い出の物語の1ページになってほしい」という意味と「新しい試みである4部門合同学園祭の物語のスタート」という意味を込めて『Story』としました。

時期が変更になっただけでなく、今回は溝部高校の実行委員の生徒たちと本学実行委員の学生たちで企画した合同イベントの実施など趣向を凝らしたイベントが実施されました。企画の1つでは、短大、歯科、高校の各チェックポイントを回り『HAPPINESS』の文字を完成させると、購買で使える好きなポイントの引換券が当たるスタンプラリーを実施しました。応募総数は100通を超え、短大・歯科・高校の学生、生徒のみならずひめやま幼稚園の園児からの応募もいくつかあり楽しいイベントとなりました。

ただ初日は台風の襲来予報。11月のおだやかな秋空とは裏腹に、暴風が吹き荒れ、模擬店の通常運営やグラウンドに設置した特設ステージではステージイベントを実施することが出来ませんでした。

2日目は前日が嘘だったような晴天に恵まれました。急遽スケジュールを変更し、初日出来なかったステージイベントを実施しました。今年度は留学生が多数入学したおかげでステージイベントも各国のダンスや歌などたくさん披露されました。

模擬店では、いままで短大・歯科のみの出店だったものが、高校、幼稚園の保護者の方たちの出店があり様々な料理で溢れました。縦割りの組織の垣根を越え、年齢も様々な若人が集まり、弾けるような笑顔を見ることができました。学生、生徒たちもテーマに込められた「物語」の1ページを記録できたのではないのでしょうか。



模擬店では、いままで短大・歯科のみの出店だったものが、高校、幼稚園の保護者の方たちの出店があり様々な料理で溢れました。縦割りの組織の垣根を越え、年齢も様々な若人が集まり、弾けるような笑顔を見ることができました。学生、生徒たちもテーマに込められた「物語」の1ページを記録できたのではないのでしょうか。

# ライフデザイン総合学科 学外研修

2024年8月23日(金) 場所：マリネット福岡(福岡市)

令和6年の学外研修ではアイスショー「ディズニートン・オン・アイス」を福岡市博多区のマリネット福岡で鑑賞しました。

ライフデザイン総合学科の1・2年生(ファッションプライダールコース・グラフィックデザインコース・医療事務コース)の学外研修は、コースや学年の枠を超えて学生同士や教員との親睦を深めるとともに、多様な研修を通じて感性を磨き、共感する力や社会性を育むことを目的として毎年実施しています。

「ディズニートン・オン・アイス」は、



水上で繰り広げられるミュージカルショーです。今回の公演では、「塔の上のラプンツェル」「美女と野獣」などの名作が華やかに展開されました。会場は感動に包まれ、盛大な拍手の中で研修が終了しました。

初めてアイスショーを鑑賞した学生も多く、世界レベルのスケールやディズニートの名曲、華やかな衣装など、それぞれが異なる視点で刺激を受けたようです。この研修で得た経験や感動は、卒業研究や卒業制作をはじめ、今後の作品制作やアイデアに有意義に活用されるものと考えられます。

# 食物栄養学科 学外研修

## 「命をいただく」「たばた牧場」での酪農体験

2024年6月29日(土) 場所：杵築市山香町 たばた牧場

大分県の学校給食でも提供されている「みどり牛乳」は大分県下の牧場で生産されているものである。その牛乳をどのように生産されているのかの実際を知る学生は少なく、教員も知らない者が多かった。よって、今年度の学外研修では搾乳体験を中心とした「酪農体験」を研修に取り入れた。

今回協力していただいたのは杵築市山香町の山頂に位置する「たばた牧場」で、ここでは、1トンの乳牛を40頭ほど飼育しており、搾った生乳は「九州乳業株式会社」に卸され県内はもろみ県外にも流通している。

学生は、午前中に「搾乳体験」として実際に手絞りで体験させてもらい、日頃使用している機械での搾乳も見学できた。他にも、産まれて5日の仔牛への哺乳体験も行った。昼食では、会場を公民館に移動して大分県の畜産和牛の試食でパーベキューを行った。午後の活動では、みどり牛乳を使った「バターとアイスクリーム作り」の体験を行った。

今回の学外研修では、学科の目的である「親睦」はもちろんであるが、地域の特色や産業や文化にふれる目的として「命の学び」ができたと考えている。学生は「牛って大きくて可愛い」など話ながら、パーベキューでは「牛肉を食べる」現実を受け止め、感慨深く思っている様子であった。私たち



が勤めている食育の「命をいただく」学びとして、食材を粗末にはしていない気持ちを持って学べたのではないかと考える。

令和6年度留学生学外研修として、留学生161名と教員で稲積水中鍾乳洞へ行きました。9月に入学した新入生と先輩たち・教員との交流を目的として、当日は鍾乳洞見学やパーベキューなどのイベントを行いました。日本語を使って、違う国の学生とも積極的に交流する姿が印象的でした。

鍾乳洞を初めて目にする学生も多く、太古に思いを馳せながら見学しました。また、併設の昭和レトロをテーマにした展示で昔の日本について学んだり、日本庭園を歩いたり日本の文化を感じることができました。パーベキューでは協力して準備から片付けまでを学生たちが中心となって行い、「自立・自活」する様子が見られました。様々な理由で食べられない食材がある学生もいる中、和気あいあいと楽しく食事ができました。

今回の学外研修では留学生同士の交流のみならず、大分県や日本の文化・魅力に触れることができ、とても有意義な一日となりました。



# 卒業研究報告 二年間の成果

## 【食物栄養学科】

- 調理におけるサツマイモ葉の有効活用  
(研究者) 甲斐のすみ  
サツマイモの葉は、現在、廃棄されるのが一般的であるが、葉には多くの栄養素が含まれている。そこで私は、おいしく食べられるための調理法などについて研究を行った。
- 若年層の「噛むこと」に対する食生活の改善に向けて  
―食育できる栄養士としての役割―  
(研究者) 菅原 美涼・工藤恵理加  
乳幼児の保護者や児童を対象に「よく噛んで食べる」ことに関する実態と咀嚼効果の認知度を把握した。その結果、認知度と実際の食行動にあるギャップを埋めることが私たちの役割と考えた。
- 栄養バランスの良い郷土料理の提案in宮崎県  
(研究者) 原口萌乃佳・田中 舞  
郷土料理継承活動に向け、栄養バランスの優れた郷土料理献立を作成し、伝承活動として公開講座の実施と食生活に悩んでいる対象者に郷土料理献立の提案を行った。
- 若い世代が朝食を摂る習慣を促進する  
―時短レシピ提案―  
(研究者) 佐藤 咲弥・富田 理乃  
幼稚園に通う園児の保護者に朝食について事前調査を行った結果、時短で調理する保護者が多いことが分かった。そこで、朝食時短レシピの考案・提案を行った。
- 高齢者が安心して食べられる餅とおやつづくりの検討  
(研究者) 安心ひかり・塚崎 凛音  
高齢者が安心して食べられる餅について、市販餅、大根餅、ゲル化剤を使用した餅など6種類の餅を試験検討した。また、高齢者に不足しがちな栄養素を補い、レクリエーションもできるおやつについて検討した。
- 道の駅「耶馬トピア」周辺観光化の可能性と集客力アップ  
(研究者) 末吉 輝空・草地 佳穂  
若者を対象とする集客力のアップ、特産品であるそばの消費量拡大を目指す。フィールドワークで地域の魅力を把握し、地域との交流を図るイベント、SNSによる情報発信や、そばを使った商品の試作を試みた。
- 食に関するお手伝いの意識付けをどう図るか  
―餅ヶ浜保育園とのクッキング教室を通して―  
(研究者) 川野 朱音・鳥丸 史道  
子どもの「お手伝い」への意識付けを図るため、クッキングや保護者へのアンケートを通じて子どもへの声かけを探った。その結果お手伝いを促す冊子を考案し

効果を検証した。

8 既存の概念を覆す国東オーリーブの活用  
(研究者) 射場 萌希・清原 亜弓  
水酸化ナトリウムを使用しないオーリーブの洗拭き処理作業の軽減化、廃棄されていた不良果実とオーリーブ果実搾油残渣を粉末に加工したものを利用した商品開発に成果が出た。

## 【幼児教育学科】

- 保育現場における方言使用の捉え方の理解と大分県を用いた紙芝居の制作  
(研究者) 秋吉 楓・岩本 仁菜  
松元 那奈・中原 舞子  
吉田 星
- 外国籍の子どもたちの困りごと  
―別府市の現状―  
(研究者) 簡 椋司・塩月 陽奈  
飛河 一咲・山下 りん  
吉田 日向

方言の使用について実習を通して疑問を感じ、現場にアンケート調査した。場面によって使い分けをしている園が多かった。また、方言を使った紙芝居を作成した。

別府市に多く暮らす外国籍の子どもたちの困りごとを訪問やアンケートにより調査し、多文化保育や共生の立場から人間関係づくりを行うことが私たちの今後の課題と考えた。

3 ロングセラーの絵本の魅力とペーパーアート・スケッチブックの制作  
(研究者) 川野 有理・木原 凛  
齊藤 美涼・新森 結希  
齋藤 里奈・村井 遥  
絵本の魅力を研究し、その中から絵本や手遊び歌を基にしたペーパーアート「三匹のこぶた」やスケッチブックシアター「おおかき」ならならんになる」を製作した。

4 大分県内の児童養護施設及び乳児院を対象とした利用児童や支援ニーズに関する調査  
(研究者) 阿部 瑞生・川野 七海  
上田 玲奈・奥村 友希  
児玉 羽琉

大分県内の児童養護施設及び乳児院を対象に、利用児童や支援ニーズに関する調査を行った。その結果、高齢児童の増加や虐待等を理由とする入所が多いことが明らかとなった。

5 子育てを支える連絡帳  
―文章表現の工夫―  
(研究者) 河野 有紀・後藤沙也佳  
藤原 彩乃・村上伊織里  
連絡帳が保育者と保護者の関係を、園児の保護者に対する子育て支援の実態を調査し、保護者が安心して連絡帳の書き方の工夫を考察した。

6 アトピー性皮膚炎  
―アトピー性皮膚炎の子どもの保護者に対する対応法―  
(研究者) 佐藤 千夏・佐藤 光織  
竹元 愛美・中津留 光織  
神田 悠乃

アンケート調査の結果、園内で症状が出た際には、子どもの症状に合った対応をしたり、保護者へ詳しく症状を伝えたりしていることが分かった。

## 【介護福祉学科】

- 身近な交通のユニバーサルデザイン  
―すべての人がより良い生活を送るための良い交通手段―  
(研究者) 小玉 妃菜・能丸 桂輔  
末光 優貴・メイジツカサ  
イェウンリンラエ
- 別府市と竹田市の介護予防への取り組み  
―通いの場への参加率が全国一位なのはなぜか―  
(研究者) 岡本明花里・倉八 玲香  
松尾 雅喜・ソノリトイ  
メイミヤツカウナン

人の生活には、病院受診など外出することは欠かせない。環境が整備されていくと、移動距離の問題や天候に左右されること、高齢者が「全ての人がより良い生活を送るための交通手段」の調査を行った。

大分県の総合事業の中に、介護予防に資する住民主体の「通いの場」の利用率は10年間連続日本一位、竹田市の参加率は県内一位とのニュースについて疑問を感じた。実際に、介護予防教室を参加し、市役所への聞き取り調査を行った。

3 認知症の家族への支援方法  
―家族会への参加を通して―  
(研究者) 安東 永遠・佐藤 将琉  
渡邊 倫可・ナシユエカン  
テイミヤツノールウィン

実習中、認知症の利用者と関わったことで認知症について興味を抱いた。また認知症の家族が互いに支え合う会である「家族会」に参加した。そこで、認知症の利用者と家族の視点から必要な支援について研究を行った。

4 高齢者への音楽療法について  
―音楽療法の効果―  
(研究者) 月元 栗・財前 怜央  
吉良 陽向・スボウマン  
テイリウマウナン

実習先で音楽療法を取り入れていた高齢者施設があった。音楽療法を行うことでどのような効果をもたらすのか知りたいと考えられるようになり、音楽療法を実際に提供している施設へのインタビュー調査を行うことにした。

5 介護美容を利用して得られる効果について  
―介護美容とは―  
(研究者) 甲斐 美来・中山 陸  
山本 翔太・エーミーヤン  
プウインプリーミヤツ

実習を行った際に美容をしている方やしていない方がいた。介護美容を行うことで心身のケアや自己肯定感、自尊心が向上し、精神的な安定や幸福感を得ることができると分かった。

# ライフデザイン総合学科 医療事務コース

## 1 難治性ネフローゼ症候群

―完治までの道のり―

(研究者) 甲斐 美愛  
幼少期の時に難治性ネフローゼ症候群と診断を受け長期間の入院・退院を繰り返していた。再発を繰り返したのが新薬の登場により、幸いにも寛解することができた。私が体験したことをきっかけに詳しく知りたいと思い、研究のテーマとした。

## 2 過敏性腸症候群について

―再発予防のためにできること―

(研究者) 後藤 朔  
私は中学2年生の時に過敏性腸症候群を経験した。過敏性腸症候群とは、腹痛や便秘または下痢を慢性的に繰り返す疾患のことである。原因は特定されていないが、私がある特定の食べ物によって過敏性腸症候群を予防するために、どうすればよいか考察した。

## 3 ADHDについて

―ADHDが日常生活に及ぼした影響―

(研究者) 西田 春香  
ADHDは発達障害の一種で不注意や多動性、衝動性などの特性が見られる症候群で、私はADHDとの診断を受けた。私の中高時代の体験や、どのように思い過ごしてきたかを含めて、ADHDが私の日常生活に及ぼした影響について発表する。

## 4 胆嚢結石について

―発症と再発の予防―

(研究者) 野々下あやか  
私の姉は5年前の2020年7月頃に胆嚢結石を発症した。発症には、食生活が主な要因とされている。私の姉は胸痛や腹痛などの重い症状を経験した。そのため、胆嚢結石について理解を深め、発症と再発の予防について研究した。

## 5 関節リウマチについて

―祖母を通して学んだこと―

(研究者) 本山 愛菜  
私の祖母は2009年から現在に至るまで関節リウマチに罹患している。関節リウマチについて調査を行うなかで、この20年間で寛解率が大幅に向上しており、背景には2つの要因があることがわかった。



### 幼児教育学科 学外研修

2024年9月27日(金) 場所：稲積水中鍾乳洞・いなづみ白山川キャンプ村

令和6年度幼児教育学科学外研修は、「稲積水中鍾乳洞」、「いなづみ白山川キャンプ村」で実施しました。「稲積水中鍾乳洞」は、2億年以上前から存在する日本最長の水中鍾乳洞であり、洞内温度が一年中16度で、9月の酷暑を感じさせない快適な空間でした。珊瑚石やベルホール、ヘリクタイトなどの鍾乳石をじっくり見ながら探検し、自然がつくり上げた神秘を体験することができました。

「いなづみ白山川キャンプ村」では、1、2年生の交流を目的にレクリエーション活動を実施しました。青空の下、学生と教員全員が広場に集まり、1チーム5、6人のグループに分かれ、物語ジェスチャー送りゲームを体験し、心を通わせることができました。その後は、バンガローにて、ふれあいゲームやカードゲームを通してコミュニケーションを促進し、楽しいひとときを過ごすことができました。

学外研修により自然や仲間との親睦が深まり、秋学期からの新たなスタートを志す有意義な一日となりました。



### 介護福祉学科 学外研修

2024年10月11日(金) 場所：福岡博多座

令和6年度介護福祉学科・学外研修として、福岡博多座にてスパー歌舞伎「ヤマトタケル」を鑑賞しました。

スパー歌舞伎は、宙乗り、早替わりなどの芸や現代風の音楽を導入し、現代にマッチした演劇で、留学生からも「面白かった」という声がたくさんあがりました。

1986年スパー歌舞伎の始まりから演じられている「ヤマトタケル」は伝統や歴史的な要素もさることながら、現代の言葉遣いやユーモアを交えた圧巻のパフォーマンスでした。

使用されている装置や道具を参考にし、「ふくし・ふれ愛ひろば」に取り入れようと話す学生もあり、学生たちの学びは



### 第25回 ライフデザイン総合学科 グラフィックデザインコース 卒業制作・学生作品展 2025

ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース1、2年生による「第25回グラフィックデザインコース卒業制作・学生作品展2025」が、令和7年2月20日(木)2月24日(月)の日程で、大分市アートプラザアートホールを会場に開催された。グラフィックデザインコースでは、グラフィックデザイナー、DTPデザイナー、Webデザイナーを目指す学生が、



デザイン、DTP、Web、クロスメディアデザイン、写真、素描、工芸等の様々な体験学習を通して印刷 出版、広告業界の技術の習得を行っている。今回の展示では、CGに優れたMacを使って制作したコンピュータグラフィックス作品(DTP、デジタルアート、クロスメディアデザイン)、イラスト、卒業生作品など基礎デザイン、イラスト、卒業生作品など約200点が展示された。作品には学生それぞれの個性が出ており、500名を越える多くの方々に興味をもって鑑賞していただくことが出来た。今回でグラフィックデザインコースとしての学生作品展は25回目となり、回を重ねるごとに出品点数も増え内容も充実してきている。学生も含めてよい経験となった。今後も学生も卒業生の作品発表の場として、さらに充実させていきたい。

### 第9回 イラストデザインコンテスト

ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコースでは、情報、時代を求められるデザインナーやクリエイターをめざします。その一環として、豊かで柔軟な発想で自分独自のイメージを表現したオリジナルのイラストを募集しました。第9回のイラスト「アイドル」は、イラストデザインコンテストには多くの高校生、学生から応募があり、素晴らしい感性にあふれた作品が集まりました。

#### 最優秀賞

水沼 桃子さん (未来高等学校2年)

#### 優秀賞

大西 晴奈さん (大分県立鶴崎工業高等学校3年) 後藤 夢叶さん (別府溝部学園短期大学1年) 西崎 莉央さん (別府溝部学園短期大学1年) 「give out」 (別府溝部学園短期大学1年)



水沼 桃子さん

#### 入賞

藤内 心美さん「アイドル」 (大分国際情報高等学校2年) 山岡 琴葉さん「アリス地下アイドル」 (大分高等学校1年) 榎 美咲さん「夢のステージ」 (大分県立別府翔青高等学校1年) 新貝 光さん「Glistening」 (大分高等学校1年) 吉岡 美風さん「令和時代のアイドル」 (別府溝部学園短期大学1年)

### JR別府駅構内 観光ポスター作品展示

2024年3月25日(月) 4月11日(木) JR別府駅構内 毎年4月初旬の「別府八湯温泉まつり」の一環で、学生が作成した、別府を観光客の方々にアピールするポスターなどの作品を、JR別府駅構内で展示した。別府の主要な観光名所の写真やイラスト、キャッチコピーなどを組み合わせ、学生が各々の視点と想いで、学生らしい趣向を凝らしたポスター作品や、段ボールを使用したフレームに学生各々が自由に表現したグラフィックアートを貼り付けて制作した「光のオブジェ」の灯籠も展示した。期間中は、子どもからご年配の方まで、多くの方が作品の前で足を止めて下さり、学生の想いがこもった作品を、思い出のひとつとして刻んでいただけた。



### 第17回 わが校自慢コンクール

本学の「ライフデザイン総合学科」のなかには、デザインや写真等、実技を通して自分だけの作品を創造したり、専門のアプリケーションを使用してデジタル技術を修得するコースがあります。そこで図書館では「わが校自慢コンクール」を実施し、自らの学校の特徴的な活動の様子、ユニークな友人、先生の紹介、校内の美しい風景などの楽しい作品が多く寄せられています。例年のように、応募作品の中から入賞作品を専門家の目で審査しました。その審査員の先生の講評によれば、「学校の特徴ある建物の写真が多かった中、最優秀賞に選ばれた作品は一枚の写真の中で、行事の様子やその場の状況がとてもよくわかり、目が一番惹かれる作品だった」ということでした。上位入賞者は以下のとおりです。

#### 最優秀賞

石井 咲来さん「No.1」 (大分県立鶴崎工業高等学校3年)

#### 優秀賞

岡林 由真さん「声」 (大分県立情報科学高等学校3年) 緒方 美月さん「夢までもう一步」 (大分県立情報科学高等学校3年) 近江 楓さん「空と交信」 (大分県立情報科学高等学校1年) 佳作 藤田 玲奈さん「夏の水球プール」 (大分県立大分商業高等学校3年) 河野 美咲さん「私の避暑地24」 (大分県立情報科学高等学校3年) 石井 光姫さん「校舎と通路」 (大分県立宇佐産業科学高等学校3年) 溝部 萌衣さん「努力の賜物」 (明豊高等学校3年) 河津 祥子さん「動画視聴」 (大分高等学校3年)



最優秀作品

### 第27回 お魚さばき講座

食物の学生と親子で一緒に!! (兼：公開講座) 2025年2月1日(土) 場所：85年館 調理室・試食室



今年の「第27回のお魚さばき講座」では、学生の授業の一環でもあり公開講座(オープンカレッジ)として3組の親子を招いて実施した。佐伯市からこの日の主役である美人鯛を9尾と鯛を8尾寄付いただき、連携している佐伯市蒲江漁業青年部連絡協議会皆様の参加は総勢13名であった。8班に分かれた1年生の日本人学生20名・留学生15名・親子9名は、頭の落とし方・腹切り・さか包丁のやり方に苦戦しながらも順調に三枚に下ろしていき、「刺身・潮汁・ホイル焼き・湯煮のカルパッチョ・りゅうきゅう」(大分県郷土料理)に調理した。学生は「難しいけど楽しい」「こんな大きなさかなを初めてさわる」と話すがあった。試食会では、副学長・幼児教育学科長をお招きし、大勢で食事ができることを喜び大魚の味を堪能した。今年も無事に講座が開催できる喜びを噛みしめながら、佐伯市や蒲江漁業青年部の皆様に感謝の気持ちで大盛況に終わった。この講座は、魚食普及事業の一環でもあったが、大分県の食材を自分達の手で捌いて調理し共食することの大切さをこれからも伝え続けなければと感じる時間となった。

# キャンパスに咲いた若人の記録

## 年間行事 Campus schedule

### 春学期



就職ガイダンス



第19回読書感想文コンクール  
春学期定期試験  
幼児教育学科保育園実習(2年次生)



幼児教育学科幼稚園実習  
食栄学外研修、幼教学外研修



介護福祉学科ふくし・ふれ愛ひろば  
就職ガイダンス  
食物栄養学科コンテスト



春学期開講  
入学式  
オリエンテーション  
開学記念 in 城島



ライフデザイン総合学科学外実習  
食物栄養学科医療秘書実務実習  
食物栄養学科給食実習  
幼児教育学科保育園・施設実習(2年次生)  
介護福祉学科介護実習(2年次生)



### 秋学期

秋学期開講  
後期開講 頌徳式



姫山祭(学園祭)



幼児教育学科  
ミュージックカーニバル  
(ホルトホール・ビーコンプラザ)  
防災訓練

姫山会役員選挙  
食物栄養学科卒業研究発表会  
幼児教育学科卒業研究発表会  
介護福祉学科卒業研究発表会  
就職ガイダンス



ライフデザイン総合学科  
医療事務コース卒業研究発表会  
秋学期閉講  
ライフデザイン総合学科グラフィック  
デザインコース卒業制作・学生作品展  
ライフデザイン総合学科ファッション  
ブライダルコースファッションショー  
幼児教育学科基礎実習(1年次生)



卒業式

あ  
と  
が  
き

本校は今年学園創立79周年を迎え、これまでご支援・ご協力下さった方々に感謝し、新たな一歩を歩んできた。今年は、大リーグ大谷選手初の「50-50」、パリ五輪メダル日本45個と大活躍の年であった。しかし、海外では戦争、軍事衝突が続く、国内でも、2024年日に能登半島地震が起き甚大な被害が出た。一日も早い復旧が望まれる今日である。被害に遭われた皆様に心よりのお見舞いを申し上げます。  
卒業生のみならず、本学で取得した資格、知識、技術を用いて一歩一歩進んでほしい。本学での2年間を糧にさらなる飛躍を願う。

発行 別府溝部学園短期大学  
大分県別府市亀川中央町  
電話 0977-666-0334  
電 0977-666-0334  
写真 こ ん ぱ す  
フォトクリエイトノア  
印刷(株)電子印刷センター